

7 灘ブロック

（1）地域づくりの目標

① 地域の概況

灘ブロックは、白浜・八木・糸引・的形・大塩校区からなる地域です。

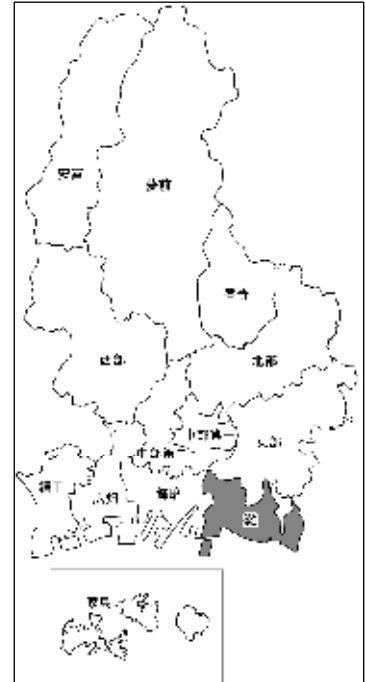
本市の臨海部のほとんどは、播磨臨海工業地帯を形成するために埋め立てられましたが、本地域には唯一、埋め立てられずに自然海岸が残っています。

また、内陸側の市街地地域は、高坪山の山並みにより西側の灘地区と東側の大的地区に大きく区分され、灘地区の海側は臨海産業地域になっています。

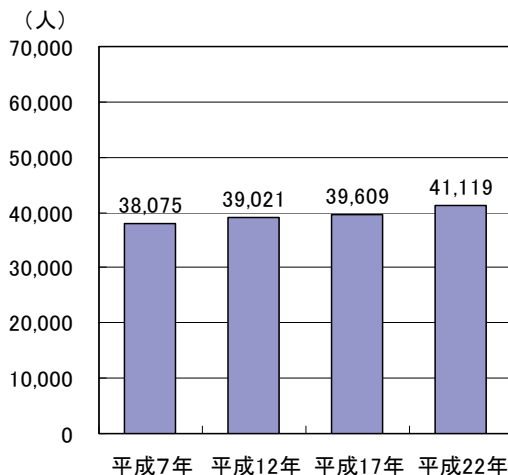
古くから海との関係が深い地域であり、奈良時代の僧行基が開いたとされる摂播五泊（摂津から播磨にかけての五つの湊）のひとつ「韓泊」は、現在の的形辺りと伝えられています。また、白浜から大塩にかけての臨海部は、播磨で最初に製塩が行われた地域として昭和46年の廃田まで製塩が続けられました。

灘地区は早くから地場産業が発展した地域でもあり、江戸中期の和釘の製造が始まりとされています。現在でも鎖・ナット製造等の地場産業が行われる職住近接の複合住宅地が形成され、臨海部では塩田廃止後の土地区画整理事業により工業団地が造成されています。

旧灘七か村の総鎮守である松原八幡神社の秋の例大祭は「灘のけんか祭」として海外にも名を知られ、大塩天満宮の「獅子舞」等を含め、本地域は伝統に育まれたコミュニティが連綿と引き継がれた地域といえます。

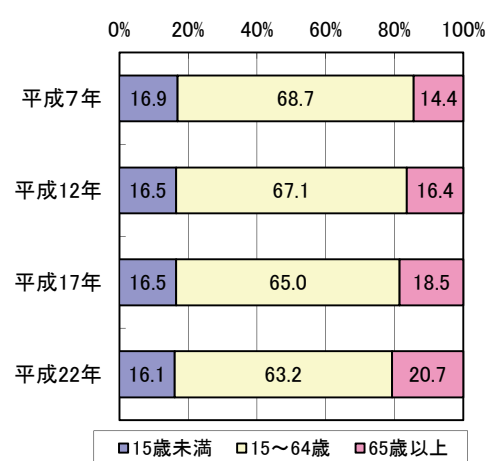


■ 人口の推移



資料：国勢調査

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査

② 地域づくりのテーマ

地場産業とまつりに育まれた海洋文化都市

③ 地域づくりの目標

◇ **高規格な幹線道路網の整備を契機とした交通ネットワークづくり**

播磨臨海地域道路網、海岸線（国道250号）等の東西幹線道路を中心とした物流の効率化、災害時の緊急輸送や広域緊急医療の充実等に資する交通ネットワークの形成を目指します。

◇ **地場産業に育まれた伝統ある複合住宅地づくり**

地場産業による職住近接の生活像と地域固有の伝統、文化に生まれ、熟成されたコミュニティを後世へと引き継ぐため、伝統ある複合住宅地の形成を目指します。

◇ **快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり**

歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。



灘のけんか祭



自然海岸（小赤壁）

（2）地域づくりの方針

① 拠点等

ア 地域核

- ・山陽白浜の宮駅周辺地区を位置付けます。
- ・地域の拠点として、交通結節機能の向上を図るとともに、商業施設や行政施設の集積を図り、地域住民の日常生活における利便性を高めていきます。

イ 塩田跡地ゾーン

- ・塩田跡地の利用については、広大な土地を生かして民間による太陽光発電が進められていますが、今後は、播磨臨海地域道路網や鉄道施設の移転の進捗状況等を踏まえ、地域特性にも配慮した土地利用を誘導します。

ウ 歴史街道軸

- ・本地域には、かつての海岸付近の旧集落を縫うかたちで東西に繋がる浜街道が通っています。この古道を歴史街道軸として位置付け、街道沿いを中心に散在する歴史文化遺産を保存、活用し、地域の魅力と活力の向上を図ります。

② 土地利用

ア 商業系

- ・山陽大塩駅・的形駅・白浜の宮駅周辺を商業業務地とし、公共交通の利便性等にも配慮しながら、商業施設や生活利便施設を誘導します。

イ 工業系

- ・八家川より西側の海岸線（国道250号）以南の臨海部では、引き続き工業地としての土地利用を図ります。また、それらは内陸部での地場産業の集積地としての機能をあわせ持ちます。
- ・生活環境影響調査を実施し、周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について支障がないと認められる廃棄物処理施設等については、その土地利用を図ります。
- ・妻鹿漁港においては、引き続き水産物の生産・流通・加工施設等の集積を図るとともに、海産物直売など地域住民との交流を促進します。

ウ 住宅系

- ・山陽電鉄と海岸線（国道250号）に挟まれた複合住宅地では、地場産業に培われてきたコミュニティを大切にしながら、住宅と工場が共存した職住近接型の住宅地を育成します。
- ・一般住宅地及び専用住宅地では、適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

エ 保全系

- ・小赤壁等の自然海岸及び高坪山や仁寿山等の市街地を取り囲む丘陵は、良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

③ 都市施設

ア 交通

ア) 公共交通

- ・鉄道駅の利便性の向上を図るため、山陽白浜の宮駅については、駅前広場の整備を推進します。
- ・高等教育機関のスクールバスが発着している山陽大塩駅についても駅前広場やホームの改善等を検討し、公共交通の乗換えや乗継ぎの利便性を高めます。

イ) 道路

- ・播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路網の早期実現を促進します。
- ・環状放射道路を構成する海岸線（国道250号）や御着線を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。また、将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画道路について、廃止を含めた見直しを行います。
- ・山陽白浜の宮駅など高齢者、障がい者等が日常的によく利用する施設のバリアフリー化とあわせて、周辺道路の改良を図ります。

イ 公園・緑地

- ・将来にわたり効率的かつ責任ある都市施設の整備を推進するため、長期未整備の都市計画公園・緑地については、廃止を含めた見直しを行います。
- ・市民のスポーツに関するニーズが高まる中、今後策定されるスポーツ推進計画とも整合を図りながら、必要に応じスポーツ需要を満たす広場の整備を図ります。

ウ 下水道・河川

- ・大塩処理場、東部処理場など老朽化した下水道施設の長寿命化、計画的な更新を図ります。
- ・都市化の進展に伴う雨水流出量の増大と集中豪雨による洪水被害の軽減を図るため、二級河川である八家川の河川改修を促進します。

④ 防災

- ・地域防災拠点として白浜支所、灘中学校、大的中学校を配置するとともに、各小学校をコミュニティ防災拠点として配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- ・避難対象地区では、南海トラフ地震が発生した場合に津波による浸水被害が想定されるため、地域住民等が参画した津波避難計画を策定するとともに、津波避難計画に基づく避難場所や避難路の確保を図ります。

- ・津波接近時の安全対策として、災害時要援護者や救助活動に従事する者等が緊急的に一時避難するための津波避難ビルの確保を推進します。

⑤ 景観

- ・浜街道沿いの歴史的遺産を保全するとともに、奇石巨岩が至る所に姿を見せ、絶景の自然美をもつ景勝地である小赤壁等の自然海岸、御旅山については、豊かな自然環境と美しい眺望景観を保全しつつ、自然観察や散策、休息等の諸活動が行える場として活用を図ります。
- ・景観形成上重要な建造物については、その保存、修復を図るとともに、まちづくりの中での活用を図ります。



凡		例		
土地利用		都市施設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	

■ 灘ブロックの将来像